J	帚化許	可申	請書	ţ Î													
法	年月日       帰化をしようとする者の写真(申請日の前6か月以内に撮影した5cm正方の単身、無帽、													可に撮			
E	本国に帰	化をした	こいのて	、関係	書類を済	忝えて	申請しま	す。		正面上半身のもの)							
	国 籍																
	出生地										15歳未満の場合には、法定代理人と一緒に撮影した写真						
帰化を	住 所 (居所)							( 4	年 月	日撮	影)						
ナンド	(よみか	aた)					T 1				通						
しようとする者	氏	名	氏				<u>-</u> 名			称名			 				
者	生 月	年日	大・「	招・平	• 令	年	<u> </u>	日生	父続	母と	'			<u> </u>	男 女		
	在 留 カ ー 特別永住者証																
特別永住者証明書番号												£	<del></del>				
父母の氏       氏名					名	氏						名					
父 本	母 籍又は[	の 国籍															
養	父 母	Ø			養				養 母 								
氏		名	氏			名			氏				名				
養本	父 母 籍又は[	の 国籍															
帰 の	化本	後 籍															
フ	リガ							 	   								
帰の	化氏	後 名	氏				(	の氏)	名								
申請者の署名 法定代理人の 住所、資格及び 署 名																	
上記署名は自筆したものであり、申請者は写真等と相違ないことを確認した。 受付担当官																	
電話	括連絡先	自宅		(	)		勤務先		(	)		携帯		(	)		

- (注) 1 申請書に記載する文字は、漢字、ひらがな、カタカナ及びアラビア数字のみとし、英字(アルファベット)では記載しないこと。
  - 2「申請年月日」及び「申請者の署名又は法定代理人の住所、資格及び署名」欄については、申請の受付の際に記載するので、あらかじめ記載しないこと。
  - 3 申請者が15歳未満である場合には、その法定代理人が署名すること。
  - 4 確認欄については、記載しないこと。
  - 5 氏名は、氏、名の順序で記載し、氏名が漢字の場合は、よみかたも記載すること。中国等における簡略体漢字については、日本の正字に引き直して記載すること。

	親	族	の	概	要	(居住	È地区:	分╱□日本	□外□	国)		交際状況等
続柄		. •	三月日	名	年齢	職	業	住 ※死亡して の記載に代				①交際の有無、②帰化意 思の有無、③申請者の帰 化に対する意見、④その 他(電話番号、帰化申請 日、帰化日など)
		年	月	日生				(	年	月	目亡)	①交際 /□有 □無 ②帰化意思/□有 □無 ③意見/□賛成 □反対 □特になし Th 年月日帰化・申請
		年	月	日生				(	年	月	日亡)	①交際 / □有 □無 ②帰化意思/□有 □無 ③意見/□賛成 □反対 □特になし Tm ー ー 年月日帰化・申請
		年	月	日生				(	年	月	日亡)	①交際 /□有 □無 ②帰化意思/□有 □無 ③意見/□賛成 □反対 □特になし Tha 年月日帰化・申請
		年	月	日生				(	年	月	日亡)	①交際 /□有 □無 ②帰化意思/□有 □無 ③意見/□賛成 □反対 □特になし Tu 年月日帰化・申請
		年	月	日生				( 🗆	年	月	目亡)	①交際 /□有 □無 ②帰化意思/□有 □無 ③意見/□賛成 □反対 □特になし Th 年月日帰化・申請
		年	月	日生				( 🗆	年	月	日亡)	①交際 /□有 □無 ②帰化意思/□有 □無 ③意見/□賛成 □反対 □特になし Tm 年月日帰化・申請

- (注)1 原則として、申請者を除いて記載する。
  - 2 この書面に記載する親族の範囲は、申請をしていない「同居の親族」のほか、申請者の 「配偶者(元配偶者を含む。)」、「親(養親を含む。)」、「子(養子を含む。)」、「兄弟姉妹」、 「配偶者の両親」、「内縁の夫(妻)」及び「婚約者」である。

なお、これらの親族については、死亡者についても記載する。

3 この書面は、日本在住の親族と外国在住の親族とに用紙を分けて作成する。

	履	歴	書	氏									
		(そ	の 1)	名						,			
年	月	日	居	住	関	係	学	歴・職	歴	身	分	関	係
										出生			
	1												
	1												
	1 1												
	1												

(注) 1 「年」については、日本の元号で記載する。

- 2 履歴事項については、古い年代のものから漏れなく記載する。例えば、学歴については、転校、中 途退学、卒業の学部等についても記載し、職歴(本国での職歴や日本に入国した後に行ったア ルバイト歴も含む。) については、勤務先だけでなく、担当した職種についても記載する。 また、身分関係については、父母の死亡及び事実婚についても記載する。
- 3 用紙が不足する場合には、同一用紙を用いて記載する。
- 4 この書面は、申請者ごとに作成するが、15歳未満のものについては、作成することを要しない。

<b></b>	書	î	氏											
(そ	0)	2)	名											
回数		期	間		日	数	渡	航	先	目	的、	同	行者	音 等
1	$\sim$	年 年	月 月	日日										
2	$\sim$	年 年	月 月	日日										
3	$\sim$	年 年	月 月	日日										
4	$\sim$	年 年	月 月	日日										
5	~	年年	月 月	日日										
6	~	年年	月 月	日日										
7	~	年年	月 月	日日										
8	$\sim$	年年	月 月	日日										
9	$\sim$	年年	月 月	日日										
10	$\sim$	年年	月 月	日日										
糸	総 出	玉	日 数									_		
	(存	年 許証	月 番号第	日多	第 1 7	重普:	通自重	動車i			得			
	()			日	日之	本語	能力詞	式験.			ベル	/		
	(そ回数       1       2       3       4       5       6       7       8       9       10	(その回数 1 ~ 2 ~ 3 ~ 4 ~ 5 ~ 6 ~ 7 ~ 8 ~ 9 ~ 10 ~ ## 出	(その 2)       回数 (元)     の 2)       回数 (元)     期 年年       1 (元)     (元)       3 (元)     (元)       4 (元)     (元)       5 (元)     (元)       6 (元)     (元)       7 (元)     (元)       8 (元)     (元)       9 (元)     (元)       10 (元)     (元)       (日)     (元)       (日) </td <td>  C</td> <td>  (そ の 2) 名</td> <td>  A</td> <td>  (そ の 2) 名   名   日 数</td> <td>  T</td> <td>  (そ の 2) 名</td> <td>(その2)     名       回数     期間     日数 渡航先       1 ~ 年 月月日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日</td> <td>  (そ の 2) 名   日数 渡 航 先 目</td> <td>  Table   A   A   B   B   B   B   B   B   B   B</td> <td>  (そ の 2) 名</td> <td>  (そ の 2) 名</td>	C	(そ の 2) 名	A	(そ の 2) 名   名   日 数	T	(そ の 2) 名	(その2)     名       回数     期間     日数 渡航先       1 ~ 年 月月日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	(そ の 2) 名   日数 渡 航 先 目	Table   A   A   B   B   B   B   B   B   B   B	(そ の 2) 名	(そ の 2) 名

- (注) 1 「年」については、日本の元号で記載する。
  - 2 出入国歴については、法定住所期間におけるものを記載する。ただし、最短でも最近1年間の出入国歴を記載する。

なお、出入国歴欄が足りない場合には、出入国歴表(付録第22号様式)に記載する。

- 3 使用言語欄については、本国における親族・友人との間で主に使用している日本語以外の言語を記載する。
- 4 賞罰欄については、過去から現在までの全てのものを記載する。
- 5 確認欄については、記載しない。

## 出入国歷表

申請者名 回数 期 日数 渡 航 先 的 等 間 目 年 月 日 1 月 年 日 年 月 日 2 年 月 日 年 月 日 3 年 月 日 月 年 日 4 年 月 日 年 月 日 5 年 月 日 月 年 日 6 年 月 日 月 年 日 7 年 月 日 年 月 日 8 年 月 日 年 月 日 9 年 月 日 年 月 日 10 年 月 日 年 月 日 11 年 月 日 年 月 日 12 年 月 日 年 月 日 13 年 月 日

帰	化	0)	動	核	後	書
		年	E F	]	日	
		盽	請者			

- (注) 1 帰化をしたい理由(例えば、日本に入国するに至った経緯及び動機、日本での生活についての感想、日本に入国した後に行った社会貢献、本国に対する思い、帰化が許可された後において行うことを予定している社会貢献、帰化が許可された後における日本での生活の予定等)を具体的に記載し、末尾に作成年月日を記載し、署名する。
  - 2 原則として、申請者が自筆(パソコンは不可)する。
  - 3 この書面は、申請者ごとに作成するが、15歳未満のものについては、作成することを要しない。

大       名       月収(円)       種目       備考         人       日本       日本	<u> </u>	生計の	概	要	(その	1)	( 4	F 月	日作成)
大     合 計     会 額 (円) 備 考       支 出 科 目 金 額 (円) 備 考     食 費       住 居 費     数 育 費       返 済 金     生命保険等掛金       預 貯 金     そ の 他       古 計     借 入 の 目 的 借 入 先 残 額 完 済 予 定		氏 名	月	収	(円)	種	目	備	考
大     合 計     会 額 (円) 備 考       支 出 科 目 金 額 (円) 備 考     食 費       住 居 費     数 育 費       返 済 金     生命保険等掛金       預 貯 金     そ の 他       古 計     借 入 の 目 的 借 入 先 残 額 完 済 予 定	IJ∇								
合     計       支出科目金額(円)備考       食費       住居費       数育費       返済金       生命保険等掛金       預貯金       その他       計       借入の目的借入先 残額 完済予定									
合     計       支出科目金額(円)備考       食費       住居費       数育費       返済金       生命保険等掛金       預貯金       その他       計       借入の目的借入先 残額 完済予定									
合     計       支出科目金額(円)備考       食費       住居費       数育費       返済金       生命保険等掛金       預貯金       その他       計       借入の目的借入先 残額 完済予定									
支出科目     金額(円)備       食費       住居費       数育費       返済金       生命保険等掛金       預貯金       その他       合計       借入の目的借入先残額完済予定	入								
食     費       住居費       教育費       返済金       生命保険等掛金       預貯金       その他       古       計       借入の目的借入先残額完済予定		<u></u>							
支       住居費         教育費       返済金         生命保険等掛金          預貯金          その他          合計       借入の目的借入先残額 完済予定		支 出 科 目	金	額	(円)		備		考
教育費       返済金       生命保険等掛金       預貯金       その他       合計       借入の目的借入先残額完済予定		食費							
返済金         生命保険等掛金         預 貯 金         その他         合 計         借入の目的借入先残額完済予定         な	支	住 居 費							
生命保険等掛金         預 貯 金         そ の 他         合 計         普 入 の 目 的 借 入 先 残 額 完 済 予 定		教 育 費							
預 貯 金       そ の 他       合 計       借 入 の 目 的 借 入 先 残 額 完済予定		返 済 金							
出       その他         合計       日本の目的 借入 先 残 額 完済予定         まな       1		生命保険等掛金							
出		預 貯 金							
合計       借入の目的     借入 先 残 額 完 済 予 定       な	LLI	その他							
書     書     日本     <									
(主)     (日)     (日)<									
まな								T	
	主	借入の目に	的 借	入	先		額	完 済	予 定
負	な								
	負								
<b></b>	債								

- (注) 1 世帯を同じくする家族ごとに作成する。
  - 2 月収額については、申請時の前月分について、その手取額を記載する。
  - 3 収入の種目欄については、給与、事業収入、年金等の別を記載する。
  - 4 収入が世帯を異にする親族等からの仕送りによる場合には、月収欄に送金額を、種目欄に仕送りである旨を、備考欄に仕送人の氏名及び申請者との関係を、それぞれ記載する。

## 生 計 の 概 要 (その2) 時 等 名 種 類 積 価 義 面 人 不 動 産 先 預 入 名 義 金 額 (円) 人 預 貯 金 種 類 評 価 額 名 人 等 義 株 券 社 債 等 種 類 評 価 名 義人等 額 高 価 な 動 産

<sup>(</sup>注) 1 高価な動産欄については、おおむね100万円以上のものを記載する。 2 不動産については、国外にあるものも記載する。

	事	業(	か	概	要		対象とた 期	なる 間		年	月	~	年	月
商	号 等						所	在						
開第	<b>美</b> 年月日	年	月	日			経営	者	申請者	者との関	]係	(		)
							許認可 <i>0</i> 月日番兒						(孫	雀認欄)
営業	<b></b> をの内容						営業資	本						万円
							従業員	数			名	(内専	泛者	名)
事業	美用財産													
売	上高		9	営業外費	費用		万[							
売.	上原価	9	特別利	」益						万円				
販	売 費 等 万円						特別損	失	万					
営業	業外収益					利	益			万	円(利	J益率	%)	
	借入	. 年月借入先信				佳	昔入額 ( フ	<b>ブ円)</b>	期末残	額(万日	円)	返	済の	方 法
負														
		i i i i												
債														
借 <i>フ</i> 返	人の理由及 済 状													
取	名称又は代表者名			所	在	電	話番号		取引額 万円)	取引	の内	容 取引期間		
링														
先														
 備 考														

- (注) 1「年」については、日本の元号で記載する。
  - 2 この書面は、複数の事業を経営している場合には、1事業ごとに作成する。
  - 3 個人事業については前年分について、法人については直近の決算期について、それぞれ作成する。
  - 4 確認欄については、記載しない。